

(参考) オレンジゆづるバス再編検討分科会について

●第10回オレンジゆづるバス再編検討分科会

◆開催概要

- ・日 時：令和7年10月24日（金）13時～15時45分
- ・場 所：箕面市立船場生涯学習センター 多目的室2（513）
- ・出席者：23名（5人程度/班の5班に分かれて議論）
- ・内 容：市内バス路線（阪急バス・オレンジゆづるバス）の見直し（素案）
のパブリックコメントに関する結果について
<ワークショップ>
パブリックコメント結果を踏まえたルートの一部見直し検討

◆検討テーマ及び結果

・【テーマ①】青ルートの箕面萱野駅へのアクセスについて

方向性

「双方向のルートを見直し、箕面萱野駅へのアクセス向上を図る」

（意見）

- ・現在の「箕面萱野駅南」バス停からみのおキューズモールへのアクセスする場合、距離に加え、傾斜もあることから、高齢者にとって利便性を向上させるために見直しをした方がよい。
- ・双方向のルート見直しにより、さらにみのおキューズモールへのアクセスを向上させることで、公共交通施設の利用後、みのおキューズモールで買い物をするなど、運行地域だけでなく市域全体としても利便性の向上となる。
- ・双方向のバス停が国道423号を挟んで向かい側に設置されることで、利用者にとってバス停の位置がわかりやすくなるとともに、キューズモールから視覚的に見える位置にあることで、利用しやすく感じられる。
- ・森町や彩都から箕面萱野駅に路線バスでアクセスした際、現在の「箕面萱野駅南」バス停よりも、オレンジゆづるバスへの乗り換えがしやすい。
- ・国道423号の交通への影響は一定懸念される一方で、国道171号の混雑緩和が期待できる。
- ・国道423号の混雑への対策として、土日祝の昼間のみ右折信号を延長させるなど、運行状況に応じ、警察へ要望を行うことも考えられる。

・【テーマ②】黄ルートの箕面萱野駅へのアクセスについて

方向性

「現状維持（変更なし）とする」
(意見)

- ・路線バス（石橋線・箕面小野原線）や赤ルートにて箕面萱野駅へアクセスが可能であり、地域として交通手段がないものではない。
- ・時間帯別や曜日別の便を設定すると利用者や運転士にとってわかりづらいものとなり、見直すべきでない。
- ・桜ヶ丘南付近については、黄ルートを箕面萱野駅に向けて見直すことでアクセス向上の影響が大きくなるが、当該バス停の利用者はそこまで多くない。

・【テーマ③】赤ルートの「小野原西」停留所の新設について

方向性

「現状維持（変更なし）とする」
(意見)

- ・小野原西バス停から箕面萱野駅へは路線バス（石橋線）でアクセス可能。（箕面萱野駅南バス停を利用）
- ・バス停の新設にあたり、ネーミングライツが設定されているバス停が廃止される懸念があることも踏まえ、現状維持とする。